

事業番号	04 07 09		事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	こどもの未来支援基金事業				担当課	部局	県民文化部	
						課・局・室	こども・家庭課	
総合5か年計画	プロジェクト					E-mail	kodomo-katei@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 5 すべての子どもの学びを保障する支援						
					実施期間	H28 ～		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	2-3 若者のライフデザインの希望実現						
	施策展開	1-(2) 信州ならではの魅力ある子育て環境づくり (イ) 子育てに伴う経済的負担の軽減 (エ) 困難を抱える子どもや家庭への支援						

1 事業の概要

目指す姿	経済状況から修学に困難を抱える県内学生を支援する奨学金給付や、児童養護施設入所の自然科学体験機会創出の実施を補助するなど、子ども自身が力をつけ、様々な進路にチャレンジできるよう、子どもの未来を幅広く支援する。 (こどもの未来支援基金、「ルートイングループ・永山勝利」大学修学等支援基金を活用)										
現状 (予算編成時)	○家庭の経済状況から進学をあきらめる子どもがいる。既存の奨学金のほとんどが貸与型で、将来の返還負担から貸与をためらう状況がある。 ・母子家庭の母の困っていること 第1位「子どもの将来(進学)」35.5% ・母子家庭の母の子育てで大変なこと 第1位「進学のための学費の貯金等」45.8% ・ひとり親家庭の子どもの声で将来の希望を叶えるために必要なもの 第1位「学力・勉強」76.7%、第2位「お金」66.5% (平成27年度実施「ひとり親家庭実態調査」結果) ○保護者(実親)の養育が困難・不適なため児童養護施設等に措置されている児童は、本来幼少期等に一般家庭で体験すべき、家庭での旅行・レクリエーション等の体験に乏しく、「生活日課」では困難な体験旅行等の機会創出を支援し、将来の自立に向けた社会性を涵養する必要がある。										
県が関与する理由	県関与の必要性あり			【左記の説明、根拠法令等】							
	県民との協働による実施: 検討中			・県内大学生の修学にあたり特定分野の企業等への就職といった一定の条件を課さずに奨学金を給付できるのは、県以外に想定できない。 ・県内全域の児童養護施設に対し、広域・公平な支援を可能とするには県以外に想定できない。							
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)										
	・修学資金の給付により、経済的に困難を抱えた学生が県内大学等の高等教育機関に修学できる環境を整える。 (H28支給人数:25人「長野県県内大学進学のための入学金等給付事業」(高校教育課)※のH27支給対象者(H28進学者)数。 ※対象であることが給付条件であるため。) ・児童養護施設入所児童が自然科学体験に触れる機会創出を促進する。 (H28参加割合:80% 自然科学・産業技術の体験学習をする中学生以下の児童の割合)										
	② 事業内容 (単位:千円)										
	項目		実施方法	H28事業実績		H28		H29			
						(当初)	(決算)	(当初)			
	[ルートイングループ寄附金等活用]県内大学修学奨学金給付事業		補助	経済状況から進学に困難を抱える県内大学生に対し、奨学金を給付		5,500	4,500	10,150			
児童養護施設入所児童の「未来」支援事業		補助	児童養護施設設置者が実施する自然科学体験充実のための費用の補助		9,750	3,341	9,750				
積立金			こどもの未来支援基金への積立金		50,013	50,200	50,013				
					合計	65,263	58,041	69,913			
事業コスト	区分(単位:千円)		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況					
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28		H29 目標
		当初予算		65,263	69,913				目標	成果	
		補正予算		△ 800		給付型奨学金の支給	-	-	25人	28人	達成
		合計(A)	0	64,463	69,913						
	Aの財源	一般財源				自然科学・産業技術体験を体験学習した入所児童の割合	-	-	80%	74%	未達成
		県債									
		国庫支出金									
		その他	0	64,463	69,913						
	決算額(B)			58,041							
	概算人件費	職員数(人)		1.00	1.00						
		概算人件費(C)	0	7,914	7,914						
概算事業費(B(A)+C)		0	65,955	77,827							
目標に対する成果の状況	奨学金給付事業:申請のあった28人の大学生・短大生に奨学金を給付した。なお、奨学金の申請資格者全員に個別に制度案内した結果、目標を超える申請があった。 未来支援事業:8施設から申請があり、体験学習や備品取得により274人の児童が自然科学等の体験をしたが、施設の事業計画や職員体制等を理由に、実施を見送る施設が複数あった。										

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
引き続きこどもの未来支援基金を有効に活用し、子どもの将来を幅広く支援するための事業を実施する。	